Science Tokyo Hospital

Junior Residency Program 2026

Institute of
SCIENCE TOKYO
HOSPITAL

東京科学大学病院

2024年10月、東京医科歯科大学は東京工業大学と統合し
「Science Tokyo（東京科学大学）」となりました。

「『科学の進歩』と『人々の幸せ』とを探求し、
社会とともに新たな価値を創造する」をMissionに掲げ、
両大学のこれまでの伝統と先進性を生かしながら、
どの大学もなしえなかった新しい大学の在り方を創出していきます。

東京科学大学病院へと生まれ変わった当院も、
このMissionのもとに、
医歯学と理工学の融合により、
さらなる発展を遂げていきます。

01 理念

研修基本理念

患者の痛みを理解できる国際水準の医療人の養成

研修目標

高度医療人に求められる幅広い臨床能力の基礎を固める

研修目的

将来日本の医療をリードし、社会に貢献する医師となるために、本プログラムは「社会の医療を構成する一次、二次、三次医療に求められる基本的臨床能力を身につける」ことを目標とします。教育手法に精通した熱意のある指導医、豊富な症例、整備された研修環境の下で、医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切かつ全人的に対応できる幅広い基本的な臨床能力（態度・技能・知識）を習得すると同時に、本学の教育目標である「アカデミックドクターの養成」を目指します。

02 ご挨拶

充実した研修環境のなかで、多くの仲間とともに、臨床と研究の二刀流で社会貢献する「アカデミックドクター」を目指しましょう

医学生の皆さん、このパンフレットをご覧いただきありがとうございます。臨床研修は、医師としての第一歩を踏み出す重要なステージです。将来のキャリアを見据え、どのような研修プログラムを選ぶべきか迷われている方も多いのではないでしょうか。

私たちのプログラムの最大の特徴は、長年採用している「たすきがけ研修」です。大学病院と協力病院、それぞれの強みを活かした統合的なプログラムを提供しています。大学病院では、多くの指導医のもとで、臨床医としての基礎的な思考法や学び方を身につけるとともに、専門性の高い分野の知識や技術を深めることができます。一方、協力病院では、数多くのcommon disease(一般的な疾患）を診療しながら、最前線で活躍する医師としての基本を学ぶことができます。

また、当院のプログラムは定員が多いこと、すなわち仲間が多いことも大きな魅力です。互いに切磋琢磨し、励まし合いながら成長できる環境が整っています。その中で、医師として一生の友人や仲間を得ることができるでしょう。

私たちは、皆さんが臨床と研究の二刀流で社会に貢献する「アカデミックドクター」を目指すことを期待しています。多様性が求められる時代だからこそ、さまざまな価値観を持つ方々に応募していただきたいと考えています。当院の充実した研修環境は、毎年研修医の皆さんから高い評価を受けており、高いマッチ率を維持しています。

最後に、2024年10月、東京医科歯科大学は東京工業大学と統合し、東京科学大学として新たなスタートを切りました。同時に、東京医科歯科大学病院も東京科学大学病院へと生まれ変わりました。医歯学と理工学の融合により、大学・病院ともにさらなる発展を遂げています。

皆さんのご参加を心よりお待ちしています。

社会に求められる医師へ研修を通して成長を支えます

私たちは臨床研修において、大学病院の教育マインドを持つ多くの指導医たちのもと、「丁寧に、深く診る」診療姿勢を通して、思考力と応用力を鍛えること、そして、日本の医療を構成する一次から三次までの医療機関での経験を積むことが、基本的臨床能力の獲得と、将来の大きな成長に不可欠であると一貫して考えてきました。

現代の医療環境は、新興感染症の拡大、AI・IoT・データヘルスといった技術革新によって急速に変化しています。その中で医師には、患者さんに寄り添いながらも、社会に対して自らの役割を問い、柔軟に対応し、行動できる能力が求められています。またこれまでとは異なる価値観や多様性を受け入れる姿勢も求められています。

私たちの研修プログラムでは、こうした変化に対応できる力を身につけるため、多彩な経験を重視しています。最新のレクチャーやトレーニング、そして多くの熱意ある指導医や仲間との切磋琢磨を通じて、確かな力を養うことが可能です。

さらに研修センターでは、常に研修医や指導医の声に耳を傾け、研修医の安全を最優先に考えながら、研修プログラムの改善と運営に努めています。東京という日本の中心で行う研修は、厳しさと穏やかさの両面を持ちます。高度な医療現場における緊張感と責任感、スピード感の中で診療にあたる厳しさ。そして教育体制の整った温かな環境や、多様な価値観が交差する都市ならではの環境。私たちはその環境の中で、皆さん一人ひとりの挑戦をサポートしていきます。

医師への大事な第一歩を、私たちの臨床研修プログラムで踏み出しませんか。皆さんとお会いできる日を、心より楽しみにしています。

03 研修プログラム概要

プログラム Ⅰ 【定員28名】

1年目 大学病院

内科	救急	外科	麻酔科/自由選択科
24週	8週	8週	8週

2年目 協力病院、大学病院

救急	産婦	精神	小児	地域	自由選択科
			一般外来		
4週	4週	4週	4週	4週	28週

外科重点コース《外科を専攻する研修医のためのコース》【定員3名】

救急	産婦	精神	小児	地域	外科	自由選択科
			一般外来			
4週	4週	4週	4週	4週	24週	4週

●外科重点コースでは、2年目に外科重点協力病院にて24週間の外科研修が可能
●2年目協力病院は、外科重点コース責任者と面談のうえ、以下の協力病院から決定する
協力病院：土浦協同病院、豊島病院、草加市立病院

広域連携型プログラム 【定員8名】

1年目 大学病院

内科	救急	外科	麻酔科/自由選択科
24週	8週	8週	8週

2年目 協力病院、大学病院＋協力病院

救急	産婦	精神	小児	地域	自由選択科
			一般外来		
4週	4週	4週	4週	4週	28週

●協力病院の受入れ状況により、2年目の協力病院での研修は
1年間または半年間（10 月～3月）の選択が可能

プログラムⅡ 【定員54名】

1年目 協力病院

内科	救急	外科	麻酔科/自由選択科
一般外来		一般外来	
24週	8週	8週	8週

2年目 大学病院

救急	産婦	精神	小児	地域	自由選択科
				一般外来	
4週	4週	4週	4週	4週	28週

基礎研究医プログラム 【定員2名】

1年目 大学病院※

内科	救急	外科	麻酔科/自由選択科
大学院			
24週	8週	8週	8週

2年目 大学病院

救急/麻酔科	産婦	精神	小児	地域	自由選択科	基礎研究期間
				一般外来		
大学院						
4週	4週	4週	4週	4週	4週～8週	16週～24週

●臨床研修の到達目標の達成度を評価し、達成していれば基礎研究ローテーションを実施する
●臨床診療科ローテート期間の勤務時間外等において、ローテートを行う臨床診療科の許可があった場合は、東京科学大学大学院基礎系研究室にて基礎研究に従事することが可能
※1年目の研修先も含め、興味のある方はお問い合わせください

周産期（小児・産婦人科）プログラム 【定員4名】

1年目　大学病院、周産期重点協力病院

内科	救急	外科/小児・NICU/産婦	小児/産婦関連診療科
一般外来		一般外来	
24週	8週	8週	8週

2年目　大学病院、周産期重点協力病院（短期）

救急	精神	小児/産婦	地域	小児/産婦関連診療科（1年次に外科8週未修了の場合は必修）
			一般外来	
4週	4週	4週	4週	32週

小児科重点

小児	関連診療科
8週（～16週）	16週（～24週）

産婦人科重点

産婦	関連診療科
4週（～16週）	16週（～28週）

●ステップアップ研修として、2年目に周産期重点協力病院をローテート可能
●2年目の必修期間は、1年目に大学病院で研修した場合と1年目の選択状況により変動の可能性あり
●ステップアップ研修には臨床研修制度上の要件があるので、興味のある方はお問い合わせください

周産期重点協力病院

■ 小児重点

1. 成育医療研究センター
2. 小児総合医療センター
3. 土浦協同病院
4. 災害医療センター
5. 川口市立医療センター
6. 武蔵野赤十字病院
7. 千葉市立海浜病院
8. 神経病院
9. 榊原記念病院
10. あおぞら診療所うえの

■ 産婦人科重点

1. 土浦協同病院
2. 国保旭中央病院
3. 大塚病院
4. 駒込病院
5. 木場公園クリニック

研修プログラム責任者メッセージ

プログラムⅠ

プログラムⅠでは1年目は大学病院で、2年目は協力病院で研修します。大学では屋根瓦式の指導体制のもと「きちんと診る」トレーニングを行い、診療に対する医師としての大事な土台を形成します。2年目の協力病院はいずれも地域の第一線の基幹病院であり、多くのcommonな症例や患者さんを担当することができます。専門研修への移行も常にプログラム内で情報共有されていますので2年目も心配ありません。また、大学での2年間連続研修を選択すると、研究や多様なキャリアの経験を積むこともできます。大学医局の多くの上級医には、ロールモデルとなる医師もいるでしょう。さらに、様々な出身大学の同僚との出会いは、皆さんのこれからの医師人生を豊かにするでしょう。1年目に大学病院で医師としての土台形成を考えている方にお勧めのプログラムです。

広域連携型プログラム

広域連携型プログラムでは、1年目は大学病院で、2年目は医師少数県にある協力病院で6ヶ月間または12ヶ月間の研修を行います。協力病院は、いずれも既存の東京科学大学研修プログラムで長期的に連携してきた実績があり、指導体制や得られる経験値は万全です。遠方の医師少数県での勤務、というと不安に思うかもしれませんが、充実した指導体制のもとで異なる環境に身を置くことは、医師としての経験値と視野を広げる絶好のチャンスです。地域と大学でのキャリアを考えている方はもちろん、今後の進路に悩んでいる方、一歩踏み出して新しい環境に挑戦したい方にも、ぜひお勧めしたいプログラムです。

プログラムⅡ

プログラムⅡでは、1年目は協力病院で研修を行い、内科・外科・救急を中心にcommon diseaseを存分に経験することができます。2年目は大学病院で、高度先進医療を担う医療機関ならではの診療を経験し、多彩な選択研修を通じて、将来の進路を見据えた研修を行います。地域医療研修では、プライマリ・ケア領域の専門医の指導のもとで、外来や在宅診療研修を行うことができます。医療過疎地域の地域医療を経験したい方は、秋田大学・島根大学との連携病院での研修も選択したり、社会医学に関心があれば、国立保健医療科学院の研修も選択できます。大学病院では、臨床実習学生や1年目研修医に教えることで自ら学びを深めることができ、学会発表の機会も豊富で、ロールモデルとなる多くの指導医に出会うことができます。専門研修へのスムーズな移行を考えている方にお勧めのプログラムです。

周産期プログラム

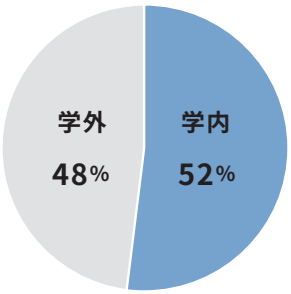
周産期プログラムは、将来、小児科または産婦人科を専攻する研修医のためのプログラムです。小児科重点コースおよび産婦人科重点コース共に、大学病院と多彩な協力病院と連携することにより、様々な専門領域がある各領域において、幅広く診療する一般診療能力と、各専門領域の高度な研修ができる、魅力あるプログラムを用意しております。ステップアップ研修として、小児科重点では小児外科研修、産婦人科重点では婦人科腫瘍、生殖内分泌専門研修など選択することも可能です。小児科および産婦人科という専門領域を目標として研修を始めるため、内科や外科などの研修においても周産期領域に関連する症例を担当することも可能となります。後期専門研修への移行もスムーズに出来るため、将来、小児科ならびに産婦人科を考えている方にお勧めのプログラムです。

基礎研究医プログラム

基礎研究医プログラムは、将来基礎医学系の研究者を志す方を対象に、臨床研修の修了要件を満たせば、2年目の後半16週～24週までを基礎研究期間とすることが可能なプログラムです。臨床医としての経験は、基礎研究の中に新しい視点を取り入れることも可能であり、また研究を続けていく上でも、臨床研修の経験は皆さんの助けとなるでしょう。本学では大学病院で熱心な指導医のもと、基本的診療能力を身につけることが可能です。また東京工業大学との合併により、両大学の強みを活かした「コンバージェンス・サイエンス」を展開するハイレベルな研究環境で、最先端の基礎研究に従事することも可能です。この新しい機会に、基礎研究者を目指す方は、ぜひ基礎研究医プログラムもご検討ください。

出身大学内訳

全国様々な大学出身者が集うオープンな雰囲気です。



■研修医出身大学（2025採用者）

【プログラムⅠ・基礎研究医プログラム】

本学、北海道大学、弘前大学、東北大学、山形大学、新潟大学、筑波大学、信州大学、愛知医科大学、名古屋大学、岐阜大学、滋賀医科大学、広島大学、福岡大学、長崎大学、佐賀大学、熊本大学、宮崎大学、香川大学、愛媛大学、東京女子医科大学、昭和大学、杏林大学、順天堂大学、日本医科大学、帝京大学

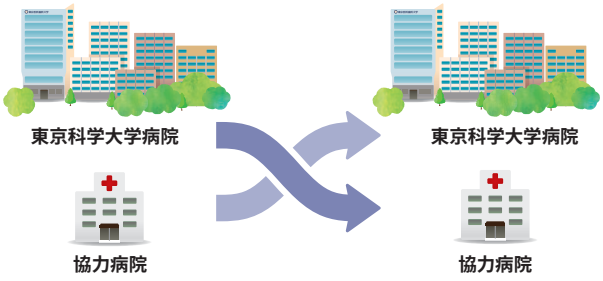
【プログラムⅡ・周産期プログラム】

本学、筑波大学、群馬大学、千葉大学、浜松医科大学、滋賀医科大学、北京大学、東海大学、帝京大学、順天堂大学

たすきがけ研修

大学病院と協力病院を1年ずつ研修するプログラムを用意しています。協力病院ではcommon diseaseや救急疾患を経験し、大学病院では専門診療や先進医療を経験することで、研究マインドを醸成することができます。

協力病院は当院との連携も密接で、研修医のフォローアップ体制も万全です。



プログラム協力病院

たすきがけ協力病院はいずれも地域の第一線の中核病院で、臨床研修の人気病院がそろっています。

＜プログラムⅠ.Ⅱ＞ ※★は広域連携型プログラムでも選択可能な病院

1. 市立青梅総合医療センター
2. 太田西ノ内病院 ★
3. 大森赤十字病院
4. 柏市立柏病院
5. 災害医療センター
6. 三楽病院
7. JAとりで総合医療センター ★
8. 草加市立病院
9. 土浦協同病院 ★
10. 同愛記念病院
11. 東京共済病院
12. 豊島病院
13. 墨東病院
14. 日産厚生会玉川病院
15. ひたちなか総合病院 ★
16. 平塚共済病院
17. 北信総合病院 ★
18. 武蔵野赤十字病院
19. 友愛記念病院 ★
20. 横須賀共済病院
21. 横浜市立みなと赤十字病院
22. 大塚病院

＜プログラムⅡのみ＞

1. 荏原病院
2. 川口工業総合病院
3. 国保旭中央病院
4. 秀和総合病院
5. 新百合ヶ丘総合病院
6. 新渡戸記念中野総合病院
7. 蓮田病院
8. 横浜南共済病院

大学病院ならではの幅広い診療科選択

がん診療
大学だからできる
高度な先進医療！

がんゲノム診療科・臨床腫瘍科では、ゲノム解析の適応判断や最適な薬物療法の遂行など臓器横断的な腫瘍内科学を学ぶことができます。緩和ケア科では、心身の苦痛に向き合う緩和治療を学ぶことができます。

難病診療
Science Tokyo
ならでは！

膠原病・リウマチ、炎症性腸疾患、神経難病、稀少難病などの難病の診療に積極的に取り組む難病診療部の指導医とともに、先端的な診療が経験できます。

低侵襲医療
最新のロボット支援
下手術を経験！

泌尿器科、胃外科、大腸肛門外科では、エキスパートによる最新の手術支援ロボット（da Vinci）を使ったロボット支援下手術を間近で経験できます。

感染症診療
2021 年 10 月新設！
研修医から人気！

感染症内科での研修では、感染症の的確な診断・治療に加え、感染症対策に関する実践的知識を身につけることができます。

救急医療研修
全国救命救急センター評価
令和 6 年度も S 評価獲得！

都内屈指の受け入れ体制を持つ救命救急センターでは、内科救急から多発外傷手術も含めた質の高い救急医療を経験できます。
2023年度には、新しく完成したC棟へ移転し、最新の装置が揃ったハイブリッドERのシステムにて、研修を行うことができるようになりました。当院所有のドクターカーは、多い時で1日6～7件の要請があり、病院前診療の向上に取り組んでいます。

研修可能診療科・研修関連部門

■ 内科系診療領域	血液内科、膠原病・リウマチ内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科、総合診療科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、臨床腫瘍科、緩和ケア科、がんゲノム診療科、遺伝子診療科、感染症内科
■ 外科系診療領域	食道外科、胃外科、大腸・肛門外科、乳腺外科、小児外科、末梢血管外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、呼吸器外科、泌尿器科、頭頸部外科、救急科、病理診断科
■ 感覚・皮膚・運動機能診療領域	眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成・美容外科／再建形成外科、整形外科、リハビリテーション科
■ 小児・周産・女性診療領域	小児科、新生児集中治療室（NICU）、周産・女性診療科
■ 脳・神経・精神診療領域	脳神経外科、脳神経内科、血管内治療科、精神科、心身医療科、麻酔・蘇生・ペインクリニック科
■ 放射線診療領域	放射線治療科、放射線診断科
■ 特殊診療領域	光学医療診療部、周産期母子医療センター、高気圧治療部
■ 基盤診療部門・診療管理部門等	検査部 、手術部 、放射線部 、リハビリテーション部 、集中治療部 、病理部、移植医療部、救命救急センター、血液浄化療法部 、不整脈センター、快眠センター、スポーツ医学診療センター、腎・膀胱・前立腺がんセンター、みみ・はな・くち・のどがんセンター、ブレストセンター、低侵襲医療センター、輸血・細胞治療センター、メンタルヘルス・リエゾンセンター、脳卒中センター、てんかんセンター、アレルギー疾患先端治療センター、先端近視センター、総合教育研修センター、医療連携支援センター、国際医療部

04 研修医インタビュー

プログラムⅠ

プログラムⅠでは、1年目のうちに大学病院でカンファレンスなどを通して体系的にacademicかつbasicな医学を学び、骨子を形成することができます。また、早期に関心のある科で研修することで医局の雰囲気や自分の将来のイメージがつきやすく、適宜進路の修正も可能です。その上で2年目に市中病院でcommon disease含め多くの症例を経験し、自らの技能に肉付けしていくことができます。このように目的意識を持って大学・市中病院両方を経験すればそれぞれの利点を掛け合わせて有意義な研修生活が送れること間違いなしです。何より出身を問わずopen-mindedな土壌のある当院にぜひいらしてみて下さい。

岸原　港先生
（2022年度採用）

1年目　大学病院

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
呼内		膠原病・リウマチ		循内		麻酔		乳腺外		救急	

2年目　武蔵野赤十字病院

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
腎内	血内	神内	放射線	総診	精神	消内	産婦	地域	小児	救急	

プログラムⅠ研修医　1日密着REPORT

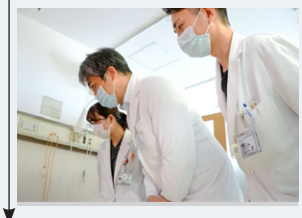
肝胆膵外科ローテーション中のスケジュール

- 8:00 科内カンファレンス
  患者さんの病状を細かく共有します。

- 9:30 朝回診
- 10:30 看護師への指示出し
  外来で指導医の診察を見学します。

- 11:00 外来見学
- 12:00 昼食
- 14:00 手術
  指導医の監督下で研修医も執刀させてもらえます！

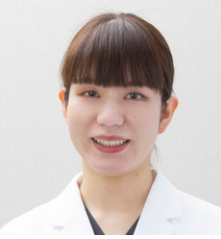
- 16:30 多職種カンファレンス
- 17:30 夕回診
  自分から積極的に患者さんとコミュニケーションを取ります。



- 18:30 業務終了

プログラムII

プログラム説明会の際に「たすきがけでは環境が変わることで成長できる機会が2回ある」と聞きましたが、そのとおりだと実感しています。1年目の協力病院では、大学までの学習を臨床現場で生かしながら、より実践的な知識や手技を身につけ、次第に出来る仕事の幅も広がっていきました。2年目には大学病院で、志望科の専門的な症例の経験や学会発表、研究にも携わることができました。志望科だけでなく選択科や必修科を含めた全ての科で、患者さんや指導医の先生方、コメディカルの方々など皆さまから多くのことを学ぶことができました。それぞれの方とつながりを持つことができ、医師としてだけでなく人としても大きく成長できたのではないかと思います。このような成長の機会を通して、改めて医師という職業につけて良かったと実感できる魅力的なプログラムだと思います。



白石　美登里先生
（2022年度採用）

1年目　横浜南共済病院

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
呼/血/神内		消/膠内		循/腎/内分泌		救急			麻酔	外科	

2年目　大学病院

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
集中治療	産婦	地域	緩和ケア	脳外	精神	小児	血管内治療	脳内		放射線	救急

プログラムII研修医　1日密着REPORT

腎臓内科ローテーション中のスケジュール

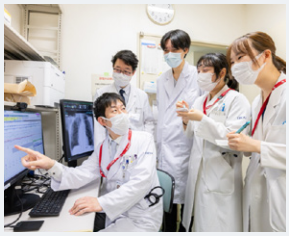
8:00 朝回診

9:00 腎生検

超音波で状態を確認したら指導医と一緒に処置をします

11:00 指導医と方針確認

入院患者さんの情報を共有し、今後の方針を相談します。



12:00 昼食

13:00 人工透析の準備

14:00 カルテ記載

16:00 入院症例カンファレンス

入院中の患者さんの状況を科内で共有します。

17:30 夕回診

チームで回診し、患者さんの病状を細かく確認します。

18:30 業務終了

周産期（小児・産婦人科）プログラム

私は学生の頃から小児科医になりたいと決めており、より早期から小児医療に触れる時間を多く持ちたいと考え、小児重点プログラムを志望しました。本学の小児科では各専門グループを全て研修することができますし、ステップアップ研修を利用して自分の希望するこども病院などでの研修も行えます。専門性の高い疾患に触れることはとても刺激になりますし、わからないことがあれば上級医の先生方が熱心にご指導くださいます。何でも相談できる先輩や同期、後輩がたくさんいますので、とても心強い環境だと思います。
特に小児科や産婦人科に進むことを既に決めている方には、この周産期プログラムも視野に入れて頂き、ぜひ一度見学にいらしてください。

大鹿　美咲先生
（2021年度採用）

1年目	土浦協同病院									大学	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消内			小児外		循内		救急		呼内	小児	精神

2年目	大学病院										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小児					救急	産婦		地域	小児	成育医療センター	

2-3月国立成育医療研究センターはステップアップ研修

基礎研究医プログラム

基礎研究医プログラムは、研究だけでなくあらゆる進路を考えている人におすすめしたいプログラムです。初期臨床研修を始めるタイミングで大学院博士課程にも進学し、卒後4年目にPhD取得を目指します。プログラム修了後の進路の制限を設けていないため、今後の選択肢の幅を広げるためにも最適な選択だと考えます。私は公衆衛生分野に所属していて、1年目は研修のスキマ時間を使って研究データの解析や論文執筆、研究室メンバーとのミーティングを中心に行いました。2年目の選択期間（基礎研究）は、Johns Hopkins University, Bloomberg School of Public Health（米国）に留学し、講義、研究、地域貢献を通じてさらに活動の幅を広げることができました。初期臨床研修のうちから広い視野を持ち、様々な挑戦を可能にする基礎研究医プログラムは大変素晴らしいプログラムだと思います。ご興味のある方はぜひ一度研修センターにリーチアウトしてください！

片桐　碧海先生
（2022年度採用）

1年目	大学病院									
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
麻酔		救急		肝胆膵外		循内		神内		血内	

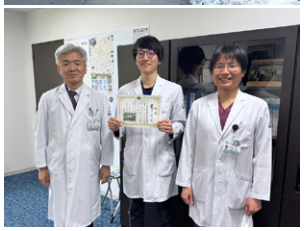
2年目	大学病院										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域		産婦	麻酔	小児	精神	保健医療行政		基礎研究			

8月小児科は草加市立病院、10-11月保健医療行政は国立保健医療科学院

05 多様な選択研修

秋田・島根地域研修

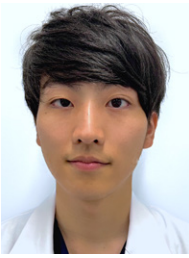
期間8週



対象 プログラムⅠ（2年間大学コース）、プログラムⅡ、周産期プログラム、基礎研究医プログラム

概要 研修プログラムの2年次に、秋田大学・島根大学との連携協力の元で、公立邑智病院（島根県邑智郡）、市立大森病院（秋田県横手市）で臨床研修を行う

研修医 VOICE



頓宮　広久先生
（2023年度採用プロⅡ）

公立邑智病院では幅広く内科診療の基本を身につけることができます。研修医は主に初診外来、救急外来、病棟管理を担当します。初診外来では患者の問診・診察・検査を行い、アセスメント・プランを考え、上級医の指導のもと方針を決定します。自身の外来から入院となった患者は主治医として治療方針の決定・家族への病状説明・退院支援までの一連の流れを経験することができます。またその他外科・泌尿器科・整形外科・小児科・産婦人科もあり、それらの科を志望する方も手術助手や乳児健診などを通して、知識を深めることができます。エコーや内視鏡検査等も希望に応じて経験し、技術を深められます。2024年より建物も一新され、更に魅力の増した邑智病院でぜひ研修してみてください。

公衆衛生研修

期間8週　学内・学外選考あり

対象 プログラムⅠ（2年間大学コース）、プログラムⅡ、周産期プログラム、基礎研究医プログラム

概要 研修プログラムの2年次に、世界保健機関（WHO）本部（スイス）、WHO西太平洋地域事務局（フィリピン）、厚生労働省、国立感染症研究所での実地研修を行う。

研修医 VOICE

柳井　健作先生
（2021年度採用プロⅡ）

厚生労働省や保健所など、病院以外で医師が活躍している場所に興味があり、公衆衛生研修に参加しました。国立保健医療科学院という専門の施設で、コロナ対策から医師の働き方改革まで様々な問題について講義と実地を交え学ぶことが出来ます。また、厚生労働省やWHO支部（フィリピン）などの実地研修があり、自分自身の視野を大きく広げてくれました。研修には全国の様々な病院から研修医が集まるため、その中での交流も大きな経験の一つです。初期研修中の貴重な2か月間をどう使うか、ということはとても重要なことですが、その価値がある研修だと思います。公衆衛生への興味に限らず、どのような人にもおすすめできる選択研修です。

プロジェクトクオータ

期間8週　学内選考あり

行政・研究・データサイエンス等の多様なキャリアを目指す研修医に、自由研修期間等を提供する

対象 プログラムⅠ（2年間大学コース）

概要 1年次にプロジェクトを立案し、2年次の自由研修期間等を利用して、プロジェクトに従事する（プロジェクトの選定や実施先との調整は、希望者自らで行う必要あり）

06 充実した教育体制

屋根瓦方式

医師が医師を育てるというマインドを大切に、
学生・研修医・上級医・指導医がチームを組んで診療を行います。

イブニングセミナー

毎週金曜の夕方に勉強会を開催しています。
学内外の一流講師陣による最先端かつ実践的な贅沢な内容で、
日々の研修に役立ちます。

■ 2024 年度年間スケジュール

4月 5日	研修情報の紹介
4月 12日	職業感染防止 「感染症診療を始める前に～血液培養と針刺し防止対策～」
4月 19日	生体情報モニターについて
4月 26日	酸素療法について
5月 10日	心電図の読み方
5月 15日	ハンズオンセミナー「輸液ポンプ実習１」
5月 17日	胸部X線読影
5月 24日	感染症の診方・考え方
5月 29日	ハンズオンセミナー「輸液ポンプ実習2」
5月 31日	抗菌薬の使い方
6月 7日	災害医療
6月 14日	ハンズオンセミナー「除細動研修」
6月 21日	人工呼吸器ビギナーズ
7月 5日	輸液、救急外来でよく見る電解質異常
7月 12日	脳神経外科救急画像一本勝負
	知れば得する泌尿器診療 （病棟や救急外来で役立つ泌尿器科知識をレクチャー）
7月 19日	頭部外傷の初期対応
	子供の鼠経ヘルニア嵌頓で困らないために
7月 26日	医科＆歯科合同イブセミ（1回目） 【放射線科】安全な画像検査のための基本情報： 磁場・アレルギー・X線 【研修センター】医療安全の事例紹介、GW
8月 30日	せん妄の予防と治療
9月 6日	診断プロセスと診断エラー
	消化管出血の対応

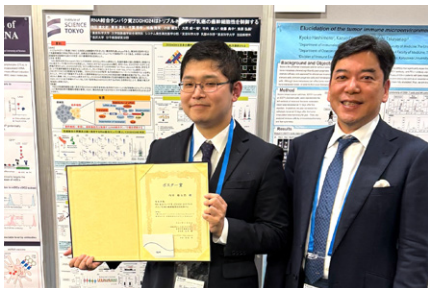
9月 13日	研修医のうちに知っておきたい画像診断(腹部)
9月 20日	研修医のうちに知っておきたい画像診断(頭部)
9月 27日	アドバンス・ケア・プラニング（ACP・人生会議）
10月 4日	肝障害の鑑別
	めまい診療の基本！ 知っておきたい必須知識と診察技術
10月 11日	医工連携への取り組み
10月 18日	便通異常症の漢方治療
10月 25日	一過性意識消失・けいれんへのアプローチ
11月 1日	医療連携と社会復帰支援
11月 15日	脳梗塞診療の基本・てんかん重積へのアプローチ
11月 22日	補助循環の基礎
	oncologic emergency
11月 29日	急性期脳梗塞の血管内治療
12月 6日	ギャンブル障害へのアプローチ
12月 13日	細菌性髄膜炎
12月 20日	こんな時どうする？救急外来での感染症診療
12月 27日	病状説明と合意形成のコツ
1月 10日	医科＆歯科合同イブセミ（2回目） 東京科学大学・医歯学系における産学連携／ スタートアップ支援の取組み
1月 17日	ハンズオンセミナー（希望者参加型） リアルタイムエコー下PICC挿入のための知識と 実践縫合結紮のハンズオンセミナー
1月 24日	ハンズオンセミナー（希望者参加型） 腹部エコー
1月 31日	ハンズオンセミナー（希望者参加型） 腹部エコー
2月 21日	ハンズオンセミナー（希望者参加型） 心エコー

講習会

各種講習会を開催しています。

- BLS、ICLS
- JMECC 講習会
- 緩和ケア講習会
- CVC 講習会

学会、研究会発表



学会・研究会での発表の機会が多数あります。
各診療科で指導医の指導のもと2024年度は39件の発表を行い、
過去3年で下記15名が優秀演題として表彰されました。

田口 美奈先生	「超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）で診断した胃原発滑膜肉腫の一例」 （消化器内科） 2022年9月24日　日本消化器病学会 関東支部第371回例会	研修医奨励賞 第1位
岡 瑛子先生	「上行置換術後の慢性期に、人工血管側枝に仮性瘤形成をきたし再手術を行った1治験例」 （心臓血管外科） 2022年11月5日　日本胸部外科学会関東甲信越地方会	優秀賞、発表奨励賞
高野 祐二先生	「腹腔鏡下切除術を行った非機能性パラガングリオーマの一例」 （肝胆膵外科） 2022年11月24日　第84回日本臨床外科学会総会	研修医Award
青木 悠先生	SALL4陽性AFP産生胃癌の異時性単発肝転移に対し、肝区域切除が奏功した一例 （病理診断科） 2023年11月9日　第69回日本病理学会秋季特別総会	萌芽賞（院長賞） ※東京都立豊島病院の院内選考で本発表を以って受賞
内田 雄太郎先生	Post-transcriptional regulation of breast cancer stemness by the novel RNA binding protein （システム発生再生医学分野） 2023年6月2日　RNA Society 2023 (国際RNA学会)	RNA2023 Poster Presentation Awards （優秀ポスター賞）
稲垣 茉里子先生	心不全を来たし、ステロイド・トシリズマブが有効であったTAFRO症候を伴う特発性多中心性キャッスルマン病の一例 （膠原病・リウマチ内科） 2024年4月13日　第121回日本内科学会総会・講演会	優秀演題賞、指導医賞
内田 雄太郎先生	RNA結合タンパク質ZCCHC24はトリプルネガティブ乳癌の癌幹細胞性を制御する （システム発生再生医学分野） 2024年11月27日　第47回日本分子生物学会年会	MBSJ-EMBO Poster Award
百合本 大夢先生	初発から13年後に再発症した難治性アメーバ腸炎の一例 （消化器内科） 2024年4月27日　第379回日本消化器病学会関東支部例会	研修医奨励賞
金子 侑平先生	Raoultella ornithinolytica肺炎が肺癌周囲に生じ肺扁平上皮癌の診断に難渋した1例 （呼吸器内科） 2024年2月17日　第185回日本結核・非結核抗酸菌症学会関東支部学会　第258回日本呼吸器学会関東地方会　合同学会	優秀賞
金子 侑平先生	高IgE症候群5例の肺病変の検討 （呼吸器内科） 2024年6月15日　第696回日本内科学会関東地方会	奨励賞
加藤 大輔先生	腎炎を合併したAbiotrophia defectiva感染性心内膜炎の1例 （感染症内科） 2024年7月14日　第697回日本内科学会関東地方会	第697回関東地方会 奨励賞・指導医賞
清水　望先生	広範な弁尖破壊を伴う感染性心内膜炎に対し 自己心膜を用いてロボット支援下僧帽弁形成術を施行した1例 （心臓血管外科） 2024年11月9日　第196回日本胸部外科学会関東甲信越地方会	研修医による発表奨励賞
高見澤 駿斗先生	SVR後C型肝硬変に生じたsarcomatoid HCCに対して複合免疫療法を行った一例 （消化器内科） 2024年7月27日　第380回日本消化器病学会関東支部例会	研修医奨励賞
藤井 直紀先生	BRAF 融合遺伝子陽性肺腺癌に対する免疫治療や分子標的薬による治療経験 （呼吸器内科） 2024年9月28日　第186回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会 第261回日本呼吸器学会関東地方会　合同学会	最優秀賞
古田 奈々子先生	間質性肺炎に伴う非結核性抗酸菌症の臨床的検討 （呼吸器内科） 2024年9月28日　第4回日本びまん性肺疾患研究会	優秀賞
三浦 寛貴先生	複数の補助循環デバイスを経てDestination Therapyに到達した広範囲心筋梗塞による重症心不全の1例 （心臓血管外科） 2024年6月15日　第195回日本胸部外科学会関東甲信越地方会	発表奨励賞
三宅 律子先生	間質性肺炎先行型の膠原病が診断される症例の特徴 （呼吸器内科） 2024年9月28日　第4回日本びまん性肺疾患研究会	優秀賞

07 整備された研修環境、施設

研修医室

2023年度リニューアル！
冷蔵庫、電子レンジ、仮眠スペース、Free Wi-Fi、個人用ロッカー、メールボックスなどを完備。
PCでは海外ジャーナルへのアクセスもでき、自己研鑽に役立ちます。
研修医室からWebカンファレンスに参加している研修医も多いです。
仮眠スペースには、リクライニングソファーが設置されており、ゆっくり体の疲れをとることができます。

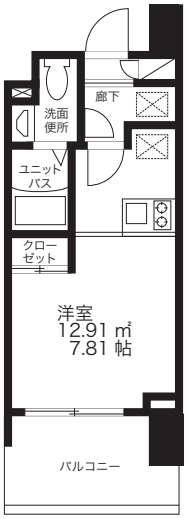
研修医カンファレンスルーム

大画面モニター、壁面全体ホワイトボードがあり、研修医ミーティング、地域医療研修の総括、イブニングセミナー等に利用しています。
その他、研修医同士の自主勉強会、会議等にも活用できます。
Free Wi-Fiが使用でき、Webカンファレンスや勉強会に参加することもできます。

研修医宿舎

全4棟の借上宿舎があり、いずれも病院から徒歩10～15分です。
都心に位置しているため、スーパーマーケットや
ドラッグストアなど日常生活には困りません。
休日には観光やショッピングなどで心も体もリフレッシュできます。

宿舎外観



※間取り図例
（部屋は選べません）

スキルスラボ

スキルスラボは、中心静脈穿刺、超音波検査や腹腔鏡手術等のトレーニングができる大学病院ならではの充実した多数のシミュレーターを有しています。
24時間いつでも利用でき、手技の確認や上達のために活用できます。

気管挿管

中心静脈穿刺

入職時注射実習

機能強化棟（C棟）

医歯学の病院機能を効率化し、救急医療と高度先進医療を提供するための機能強化棟であるC棟が2023年10月に完成しました。
C棟には手術台と血管撮影装置（X線撮影装置）を組み合わせたハイブリッド手術室を含む、最新設備・医療ロボットを備えた手術室が導入され、医師臨床研修の時期から、より高度な医療を経験できます。
さらに、ICU・ERも最新設備のため、救急医療や集中治療についてもより充実した教育環境が整っております。

フィットネスルーム

M&Dタワー地下にあるトレーニングジムを利用できます。

利用時間：12:00-21:00（平日のみ）
会費　年会費：　12,000円　都度利用：500円

飲食施設

- 生協食堂
- グリルセインツ
- Ｕエリア（カフェ・ショップ）
- スターバックスコーヒー
- セブンイレブン（24 時間営業）
- キッチンカー
  （病院敷地内に曜日毎に異なる
  キッチンカーが数台営業しています）

08 手厚い研修サポート体制

ホームカミングデー

協力病院と大学病院で研修中の研修医が大学に集まり、異なる病院で働く研修医同志の情報交換や交流の機会になっています。秋のホームカミングデーには内定者も招待し、協力病院の研修情報の説明会を行っています。

年2回の個別面談

各プログラムの責任者・副プログラム責任者と年2回個別面談の機会を設けています。
臨床研修到達目標の確認や、その他研修で困っていることやキャリアプランについてなど個別に相談に応じており、研修生活のサポートを行っています。

研修医代表委員との定期意見交換会

研修医代表委員を設けており、研修医の要望を拾い上げられるよう、定期的に意見交換会を実施しています。研修医の声を尊重し、更なる研修環境の改善に取り組んでいます。
実例として、研修医の意見をもとに2023年度に研修医室を綺麗にリフォームし、新しい冷蔵庫・電子レンジを追加し、浄水器も導入しました。研修医の先生方からも好評です。

最優秀研修医賞

医師としての基本的臨床能力を備え、社会への貢献を意識して行動し、他の研修医や学生の模範となる研修医を表彰しています。2年間の研修を指導医やコメディカル、研修医、医学生など、様々な視点から総合的に評価し、2024年度は以下の先生方が表彰されました！

吉岡 里紗 先生（プログラムII）
内田 雄太郎 先生（プログラムI）
百合本 大夢 先生（プログラムI）
齊藤 みなみ 先生（プログラムI）
金子 侑平 先生（プログラムII）
齋藤 涼佳 先生（プログラムII）

09 専門研修プログラムを見据えた選択

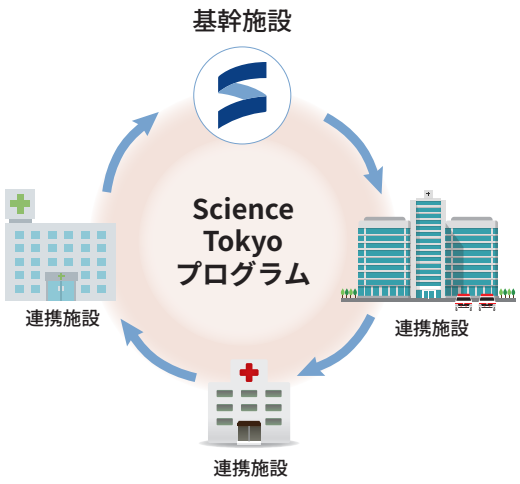
内科専門研修プログラムの場合

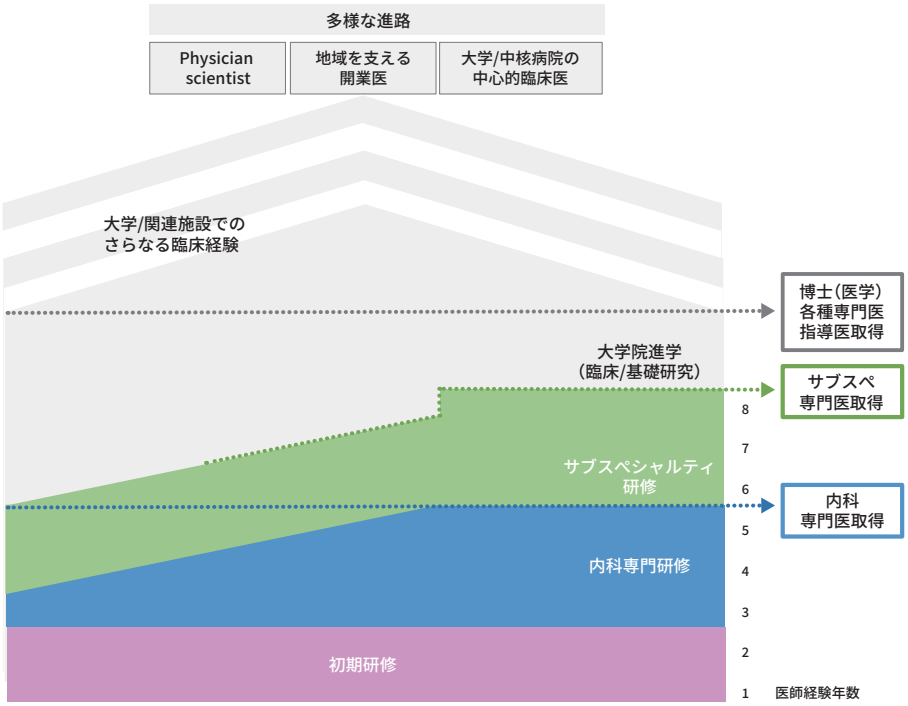
2018年から開始となった新専門医制度における内科専門医取得には、医師臨床研修後3年間の研修期間を通じて、日本内科学会が定める56疾患群以上かつ120（2024年度開始専攻医から変更）症例以上の症例経験と指導医からの承認、JMECC（日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会）受講、学会発表、その他の修了要件を満たした上で内科専門医試験を受験し合格する必要があります。

特に症例経験や病歴要約は計画的に行うことが重要となりますが、一定の基準を満たせば医師臨床研修中の症例も60症例まで登録可能であるため、当院の医師臨床研修プログラムを通じて大学病院・連携病院で日本内科学会指導医のもと内科全般の研修を着実に行うことで、医師3年目以降にサブスペシャルティにより重点を置いた専門研修を行うことが可能となります。

また、当院では、修了要件のひとつであるJMECCを定期的に開催しており、医師臨床研修中より受講が可能です。当院ならではの豊富な臨床経験を持つ熱心な指導医の適切な指導の下で、仲間と切磋琢磨し、充実した研修をより効率的に行うことができます。

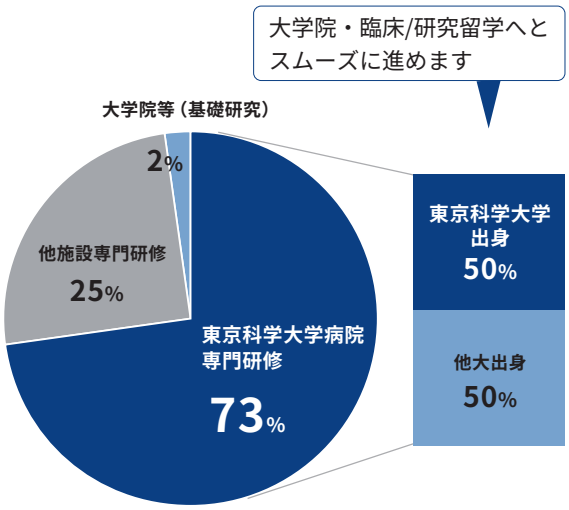
また、専門医取得のその先を見据えたキャリアパスを選択できることも当院の強みです。大学病院でサブスペシャルティを極める、大学院に進学して研究に没頭する、関連病院で臨床経験を積み地域を支えるなど、個人個人の理想の医師像を目指すための希望に可能な限り沿えるようサポートします。





研修後の進路

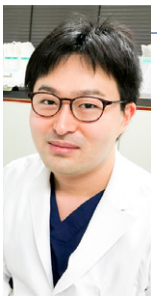
多くの方が、医師臨床研修に引き続き当院の専門研修プログラムに進まれます。
医師臨床研修の間から進路先の診療科で研修したり、スタッフと交流を持つことで、専門研修への移行もスムーズです。
臨床診療、基礎研究、臨床研究、厚労省の医系技官等、様々な分野で活躍する医師との出会いを通じて、ロールモデルを見つけて自分自身の将来について考えることができるのも、当院の医師臨床研修プログラムの醍醐味です。



先輩医師にインタビュー

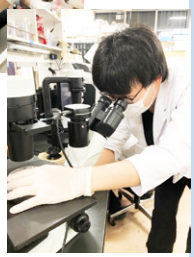
救急科　朝田 慎平先生／ 2015年度採用プログラム I

当院での研修は、たすきがけ制度、様々な大学出身者の存在、都心の好立地などなど、非常に多くの魅力があります。さらに大学病院研修の最大の強みは、多くの上級医と関わり、その考え方を学べる点であると私は思っていますが、優秀な先輩先生方がとりわけ多く存在する当院は大学病院の中でも頭一つ抜けた存在ではないでしょうか。また研修先を選ぶにあたって、救急研修の質は多くの方が重視したいポイントであると思われます。当院の救命救急センターは外来診療から自科での手術、ECMO管理などを含めた集中治療を経て、最終的に退院まで一貫した診療を行っているという大きな特徴があり、私自身ここでの研修が充実したものであったということが、当初は進路として検討していなかった救急科に入局した理由の一つです。現在は診療リーダーとして臨床に携わっていますが、自分が感じる医療の面白さ、奥深さをこれから来る研修医の皆さんに伝えていけるよう頑張っていきたいと思います。



消化器内科　稲田 賢人先生 ／ 2017年度採用プログラム II

私はプログラムIIを選択し、1年目に協力病院で実践力を磨き、2年目には大学病院に戻り改めて腰を据えて診療を行いました。学会発表も複数回経験し、2年間でバランス良く医師としての基礎力を養うことができたと感じます。そして、尊敬できる多くの教育的な先生方にご指導いただいたこの環境で引き続き研鑽を積みたいと考え、当院の消化器内科に入局し、内科専門研修を開始しました。主治医としての役割を求められる中で、当院の初期研修プログラムで主体的に学んだ経験が生きたと思います。初期研修と専門研修の両方を通じて研修センターの皆様が手厚くサポートしてくださり、特に新専門医制度に関わる情報を随時連絡いただけたのは非常に助かりました。おかげさまで内科専門医を無事に取得し、現在は大学院に入学し基礎研究を行っています。現代医学で未解決の課題に取り組むことの難しさや面白さ、奥深さを感じながら、充実した毎日を過ごしています。



10 研修医待遇

身分	非常勤職員（臨床研修医）
給与	平均300,000円/月（2024年度実績 手当等含む） 時間外手当：有 通勤手当：無 賞与：無 診療夜間看護等手当：15,000円/回
社保	健康保険 厚生年金 雇用保険（労災適用あり）
休暇	年次有給休暇：13日（年度当初に付与） その他：本学規定の休暇有り

宿舎	全88戸（前年度より2戸増） 借上宿舎（単身用）家賃：50,000円/月 ※宿舎利用に際して個別の規程あり 1年次当院で研修を行う者は全員入居可 2年次当院で研修を行う者については空きがあれば入居可
健康管理	定期健康診断：年1回実施 保健管理センター：利用可
その他	アルバイト：禁止 本学附属図書館利用：可 学内PCでの文献検索：可 学会への参加：可（参加費支給：無）

11 2026年度採用 研修医選考試験要項

募集人員	94名
試験内容	書類選考後、筆記試験・面接試験（対面）
応募資格	医師臨床研修マッチングに参加しマッチングIDを有する者
試験日程	2025年8月11日（月・祝）、12日（火）、21日（木）
応募方法	https://www.tmd.ac.jp/med/cpe/clinical-training/adoption.html

詳しい情報はこちら

※基礎研究医プログラムは、本選考の対象外となります。
（募集要項等については、HPをご確認ください。）

12 研修医選考試験スケジュール

6月
- 5日 マッチング参加登録開始
- 13日 選考試験応募受付開始

7月
- 9日 選考試験応募締切（必着）
- 17日 書類選考結果および筆記試験・面接試験日程通知
- 31日 マッチング参加登録締切

8月
- 11日 第一回研修医選考試験
- 12日 第二回研修医選考試験
- 21日 第三回研修医選考試験

9月
- 11日 マッチング希望順位登録開始
- 25日 マッチング希望順位登録中間公表前締切
- 26日 マッチング希望順位中間公表

10月
- 9日 マッチング希望順位登録締切
- 23日 マッチング結果発表

ACCESS

丸ノ内線は
御茶ノ水駅から直結！

E-mail　HP　Facebook　X　YouTube

東京科学大学病院　総合教育研修センター

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45
TEL：03-5803-4581　FAX：03-5803-0110